宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

1.発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

Ë	九工到问	夜学週					判断基準(定点当たり)		
疾 病		49 週 50 週 51 週 52 週			警報レベル		注意報レベル		
		12月2日 ~ 12月8日	12月9日 ~ 12月15日	12月16日 ~ 12月22日	12月23日 ~ 12月29日			基準値	
新型コロナ	インフルエンザ [#]	12 4.00	49 16.33	130 43.33	153 51.00	30	10	10	
	新型コロナウイルス感染症 [#]	24	45	69	37	_	_	_	
	利空コロアプイル人感染症	8.00	15.00 °	23.00	12.33				
	RSウイルス感染症	1.00	-	-	0.50	_	-	-	
	咽頭結膜熱	<u> </u>	1.00	<u> </u>	<u> </u>	3	1	-	
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.00	0.50	<u> </u>	8	4	-	
	感染性胃腸炎	6.50	9.00	9 4.50	<u> </u>	20	12	-	
	水痘	1.00	1.00	2.50	0	2	1	1	
	手足口病	2.50	6.00	3.00	2.00	5	2	-	
	伝染性紅斑	<u> </u>	<u> </u>	0.50	0	2	1	-	
	突発性発しん	0.50	<u> </u>	1.00	0	_	-	-	
	ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-	
	流行性耳下腺炎	0	0	0	0 —	6	2	3	
眼科定点	急性出血性結膜炎	定点設定なし					0.1	-	
	流行性角結膜炎	定点設定なし					4	-	
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし					-	-	
基幹定点	無菌性髄膜炎		定点設定なし					-	
	マイコプラズマ肺炎	定点設定なし					-	-	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし					-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし					-	-	
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	-	-	
	川崎病	0	0	0	0	_	-	-	
	不明発疹症	0	0	0	0	_	_	_	
			_ _						

栗原支所管内定点数:#は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、一:対応無し

施設区分	保育所	高齢者·障害者施設	医療機関
対応状況	_	0	0
備考		新型コロナウイルス感染症 感染性胃腸炎 インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は**圏域全体で**一週間に診断した患者数 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週 間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

令和7年1月7日 発行

3. 栗原支所より

【定点把握対象疾患】

- インフルエンザが増加し、警報レベル継続中です。
- 新型コロナウイルス感染症は減少しましたが、未だ 発生が多い状況です。
- 手足口病は減少し、収束基準に達しました。

【集団発生情報】

医療機関において新型コロナウイルス感染症、高齢者施設においてインフルエンザの集団発生がありました。感染対策を徹底しましょう。

【 感染症コラム ~正しい換気方法~ 】

- CO₂やウイルス等の空気を汚す物質が除去されないような密閉空間に、呼吸器感染症にかかっているヒトが滞在すると、空気中のマイクロ飛沫(病原体を含む唾液などが乾燥し小さくなった微粒子)が増加します。そのため、同様な条件下では空間におけるウイルス濃度が増加し、結果的に感染リスクが高くなります。
- 厚生労働省は、事務作業等におけるCO2濃度上限の目安である1000ppmを基準に、空間における必要換気量の目安を30㎡/h・人としています。
- 換気するには、下記のポイントが重要です。
 - ① 換気回数を毎時2回以上(30分に1回以上、数分間程度窓を全開する)とする。
 - ② 空気の流れを作るため複数の窓がある場合、対角線二方向の窓を開放する。



^悠染症情報



性感染症検査↓

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班 ☎0228-22-2117 월0228-22-7594 HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html